

青森県経済統計報告

平成18年1月4日
企画政策部統計分析課

1 青森県の推計人口（平成17年12月1日現在）…………… 1

県人口	1,435,625人（対前月660人減少、対前年同月14,594人減少）
自然動態	366人減少（出生者数863人、死亡者数1,229人）
社会動態	294人減少（転入者数1,323人、転出者数1,617人）

2 本県の経済動向

（1）経済概況

本県経済は、需要面が依然弱く、全体としては厳しい状態にあるが、生産面と雇用面で改善の動きがみられる。

（2）主要経済指標の動向

(2-1) 製造業の 平成17年10月の青森県鉱工業生産指数(平成12年=100)は、季節調 …… 2
生産動向 整済指数が99.7で、前月比5.5%の上昇となり、3ヶ月連続で前月を上回った。また、原指数は103.9で、前年同月比10.5%の上昇となり、3ヶ月連続で前年同月を上回った。

〔化学工業を除いた指数では、季節調整済指数が100.0で、前月比6.4%の上昇(2ヶ月ぶり)、原指数が106.6で、前年同月比12.1%の上昇(3ヶ月連続)となった。〕

(2-2) 雇用情勢 平成17年10月の定期給与は233,682円で前年同月比1.2%減となった。 …… 3
総実労働時間は160.0時間で前年同月比増減なし、所定外労働時間は9.8時間で前年同月比1.1%増となった。
平成17年11月の有効求人倍率(季節調整値)は0.43倍で、前月より0.03ポイント改善した。

(2-3) 物価 平成17年11月の青森市消費者物価指数は、102.3となり、前月と比べ …… 4
0.1%の上昇、前年同月と比べ0.7%の下落となった。

(2-4) 個人消費 平成17年10月の大型小売店販売額は142億8千3百万円で、全店舗ベ …… 5
ースで前年同月比2.5%減、既存店ベースで4.5%減となった。
平成17年11月の軽自動車を含めた乗用車新車登録・届出台数は3,445台で、前年同月比4.0%の減となり2ヶ月ぶりに前年を下回った。

(2-5) 住宅建設 平成17年11月の新設住宅着工戸数は812戸で、前年同月比2.0%増とな …… 6
り、4ヶ月ぶりで前年を上回った。

(2-6) 公共投資 平成17年11月の公共工事請負金額は、前年同月比31.5%増となった。 …… 6

（3）景気動向指数（平成17年10月分）…………… 7

先行指数	22.2%（7か月ぶりに50%を下回った）
一致指数	44.4%（3か月ぶりに50%を下回った）
遅行指数	50.0%（3か月ぶりに50%を下回った後50%となった）

1 青森県の推計人口（平成17年12月1日現在）

【概 況】

平成17年12月1日現在の本県推計人口は、1,435,625人で、前月に比べ660人の減少、前年同月に比べると14,594人の減少となった。

○自然動態

出生者数が863人、死亡者数が1,229人で、366人の減少となった。

○社会動態

転入者数が1,323人、転出者数が1,617人で、294人の減少となった。

総人口の推移

(単位:人)

	総数	性別		対前月増減率	増減数	自然増減数	出生者数	死亡者数	社会増減数	県外からの転入者数	県外への転出者数
		男	女								
昭45.10.1	1,427,520	685,477	742,043	-	10,929	-	-	-	-	-	-
50.10.1	1,468,646	707,232	761,414	-	41,126	-	-	-	-	-	-
55.10.1	1,523,907	735,444	788,463	-	55,261	-	-	-	-	-	-
60.10.1	1,524,448	731,439	793,009	-	541	-	-	-	-	-	-
平2.10.1	1,482,873	704,758	778,115	-	-41,575	-	-	-	-	-	-
7.10.1	1,481,663	704,189	777,474	-	-1,210	-	-	-	-	-	-
12.10.1	1,475,728	702,573	773,155	-	-5,935	-	-	-	-	-	-
16.11.1	1,450,734	688,048	762,686	-0.015%	-213	-258	911	1,169	45	1,791	1,746
16.12.1	1,450,219	687,716	762,503	-0.035%	-515	-300	965	1,265	-215	1,431	1,646
17.1.1	1,449,732	687,374	762,358	-0.034%	-487	-343	879	1,222	-144	1,275	1,419
17.2.1	1,448,945	686,936	762,009	-0.054%	-787	-507	913	1,420	-280	1,237	1,517
17.3.1	1,448,216	686,552	761,664	-0.050%	-729	-339	849	1,188	-390	1,233	1,623
17.4.1	1,441,447	682,719	758,728	-0.467%	-6,769	-668	854	1,522	-6,101	4,133	10,234
17.5.1	1,441,973	683,207	758,766	0.036%	526	-476	818	1,294	1,002	4,425	3,423
17.6.1	1,441,389	682,825	758,564	-0.041%	-584	-301	956	1,257	-283	1,693	1,976
17.7.1	1,440,721	682,329	758,392	-0.046%	-668	-320	831	1,151	-348	1,434	1,782
17.8.1	1,440,005	681,879	758,126	-0.050%	-716	-227	844	1,071	-489	1,906	2,395
17.9.1	1,440,226	681,995	758,231	0.015%	221	-258	1,007	1,265	479	2,513	2,034
17.10.1	1,436,628	678,989	757,639	-	-542	-149	942	1,091	-393	1,738	2,131
17.11.1	1,436,285	678,775	757,510	-0.024%	-343	-259	931	1,190	-84	1,777	1,861
17.12.1	1,435,625	678,406	757,219	-0.046%	-660	-366	863	1,229	-294	1,323	1,617

11月中の人口動態の推移

(単位:人)

年月	平8.11	9.11	10.11	11.11	12.11	13.11	14.11	15.11	16.11	17.11	
自然動態	出生者数	1,136	988	1,047	1,087	1,050	1,038	946	870	965	863
	死亡者数	986	980	1,139	1,073	1,153	1,161	1,194	1,075	1,265	1,229
	自然増減数	150	8	-92	14	-103	-123	-248	-205	-300	-259
社会動態	県外からの転入者数	1,448	1,368	1,490	1,489	1,469	1,485	1,345	1,368	1,431	1,323
	県外への転出者数	1,457	1,238	1,377	1,424	1,269	1,461	1,495	1,442	1,646	1,617
	社会増減数	-9	130	113	65	200	24	-150	-74	-215	-84

※1 平成2、7、12年は国勢調査人口(確定値)。

※2 平成16年11月1日から平成17年9月1日までの人口は平成12年国勢調査人口(確定値)を基礎に、平成17年11月以降の人口は平成17年国勢調査人口(要計表による人口)を基礎に推計している。

※3 増減数は、平成2、7、12年が前回国勢調査、その他が前月推計人口に対するものである。

※4 平成17年10月1日現在の人口は、平成17年国勢調査人口(要計表による人口)を用いているため、9月1日現在推計人口に9月中の増減数を加えた数値とは一致しない。

※5 算出方法

県の推計人口=前月の人口+自然増減数(出生者数-死亡者数)+社会増減数(県外からの転入者数-県外への転出者数)

※6 平成12年までは、社会動態の算定には、県間移動数に加え県内市町村間移動数も含めていたが、平成13年から県内市町村間移動者数を含まないこととし修正を行なったことから、過去の公表数値と異なっている。

※7 県の推計人口には、県内市町村間の移動者数を含んでいない為、各市町村の推計人口の総計とは一致しない。

2 本県の経済動向

(2) 主要経済指標の動向

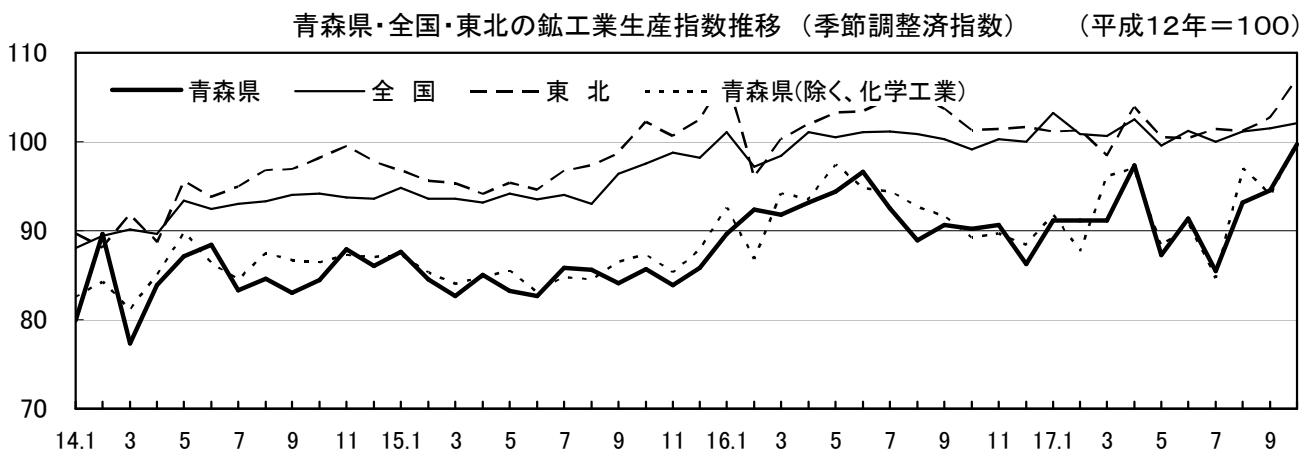
(2-1) 製造業の生産

平成17年10月の青森県鉱工業生産指数(平成12年=100)は、季節調整済指数が99.7で、前月比5.5%の上昇となり、3ヶ月連続で前月を上回った。また、原指数は103.9で、前年同月比10.5%の上昇となり、3ヶ月連続で前年同月を上回った。

季節調整済指数で前月からの動きをみると、食料品工業、電子部品・デバイス工業、一般機械工業などが上昇に寄与した一方、化学工業、鉄鋼業、電気機械工業などが低下し、鉱工業全体では5.5%の上昇となった。

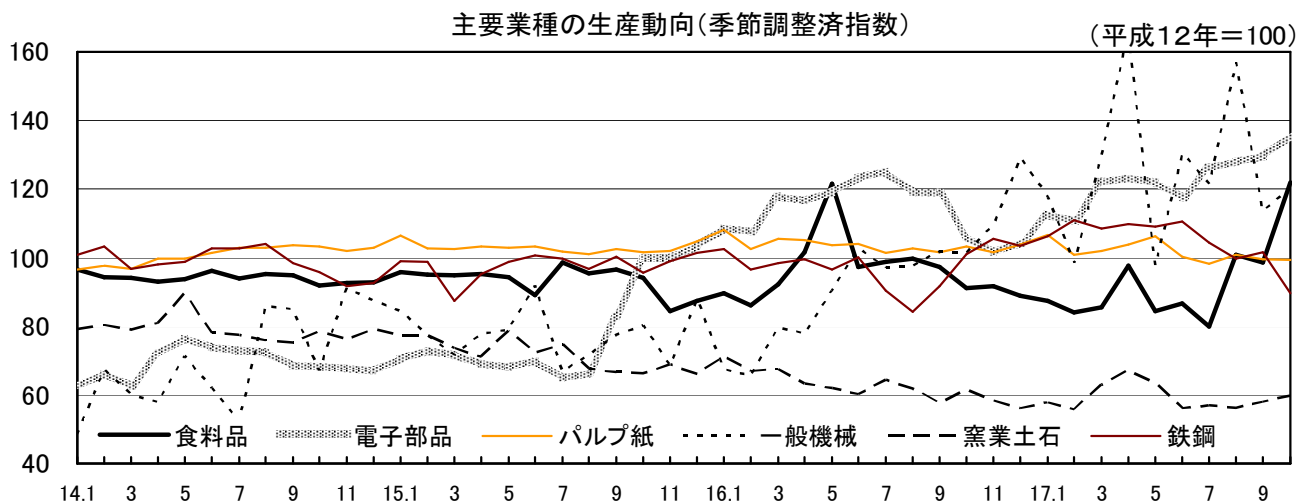
(化学工業を除いた指数について)

季節調整済指数が100.0で、前月比6.4%の上昇(2ヶ月ぶり)、原指数が106.6で、前年同月比12.1%の上昇(3ヶ月連続)となった。



◎業種別動向(前月比) 鉱工業全体 +5.5%

プラス			マイナス		
業種	前月比(%)	寄与率(%)	業種	前月比(%)	寄与率(%)
食料品工業	23.9	140.5	化学工業	-17.2	-35.0
電子部品・デバイス工業	4.6	16.1	鉄鋼業	-11.8	-14.6
一般機械工業	5.7	9.0	電気機械工業	-7.6	-11.1
精密機械工業	5.9	3.4	繊維工業	-11.2	-9.2
プラスチック製品工業	8.7	2.8	家具工業	-33.1	-2.1

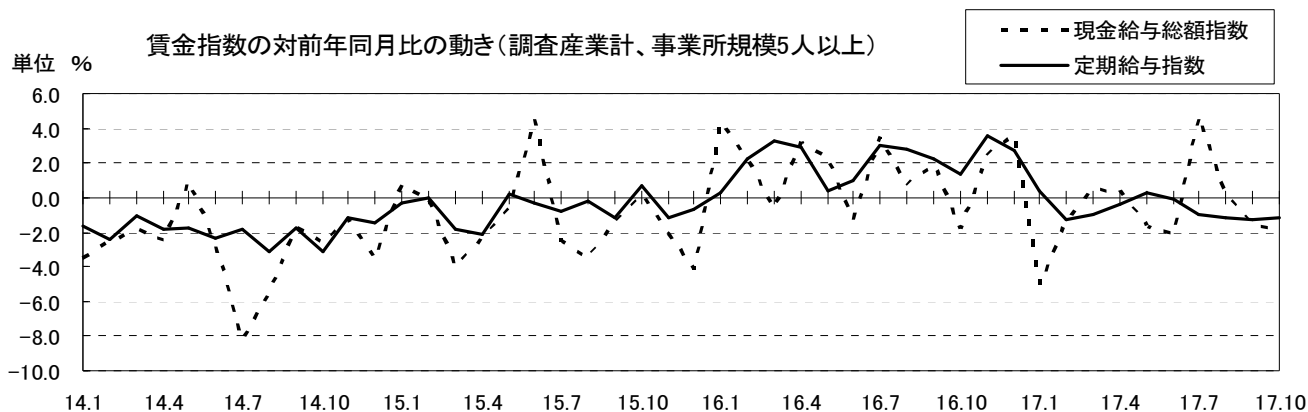


(2-2) 雇用情勢

平成17年10月の定期給与は233,682円で定期給与指数(平成12年=100)では98.4となり、前年同月比1.2%減(現金給与総額235,800円、現金給与総額指数81.7、前年同月比1.9%減)となった。実額で比較した定期給与の全国対比は85.4となった。

所定外労働時間は9.8時間で、所定外労働時間指数では114.0となり、前年同月比1.1%増となった。

平成17年11月の有効求人倍率(季節調整値)は0.43倍で、前月より0.03ポイント改善した。



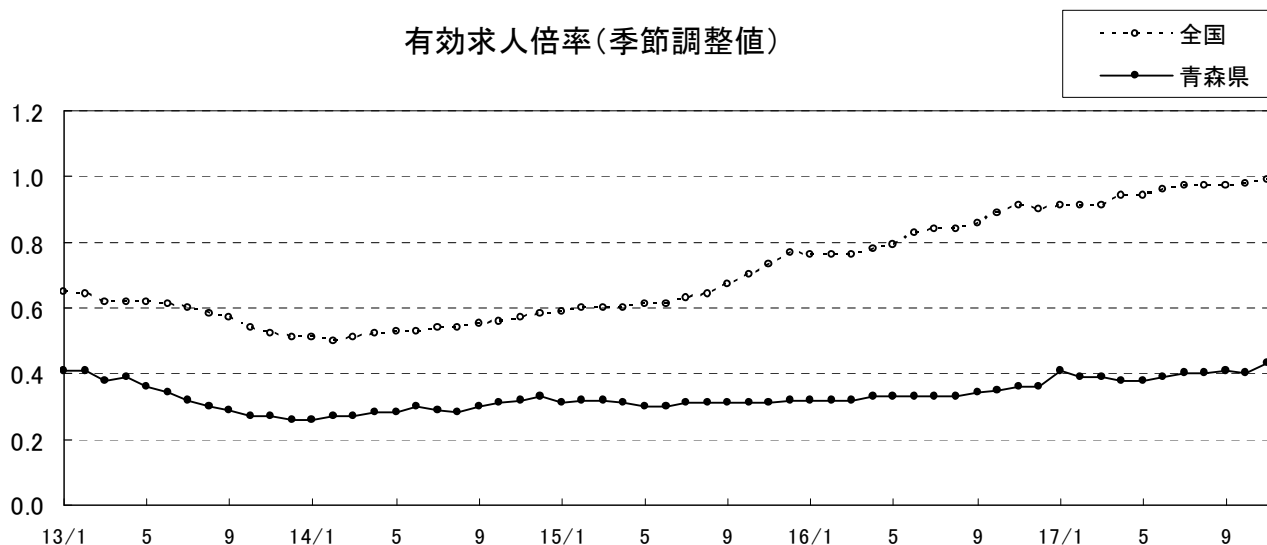
賃金及び労働時間の動き(調査産業計、事業所規模5人以上)

	実数		指数(H12=100)		対前年同月増減率	
	県	全国	県	全国	県	全国
現金給与総額	235,800 円	278,211 円	81.7	78.7	-1.9 %	0.6 %
定期給与	233,682 円	273,593 円	98.4	97.0	-1.2 %	0.6 %
特別給与	2,118 円	4,618 円	—	—	—	—
総実労働時間	160.0 時間	150.4 時間	101.0	97.7	0.0 %	0.1 %
所定内労働時間	150.2 時間	139.9 時間	100.2	97.1	-0.1 %	0.0 %
所定外労働時間	9.8 時間	10.5 時間	114.0	107.1	1.1 %	1.9 %

(注)1.定期給与とは「きまって支給する給与」のことである。

2.前年同月比は指数によって算出している。

資料：県統計分析課「毎月勤労統計調査結果(速報)」



資料：青森労働局職業安定部職業安定課「職業安定業務取扱月報」

(2-3) 物価

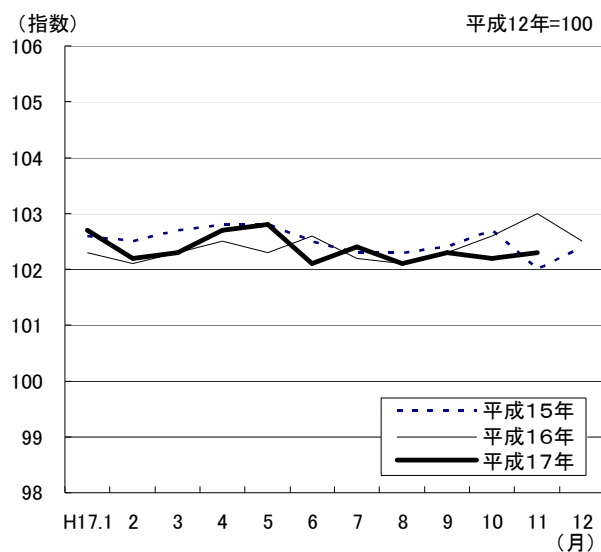
平成17年11月の青森市消費者物価指数（平成12年=100）は、総合指数が102.3となり、前月と比べ0.1%の上昇、前年同月と比べ0.7%の下落となった。

生鮮食品を除く総合指数は103.1となり、前月と比べ0.1%の上昇、前年同月と比べ0.2%の上昇となった。

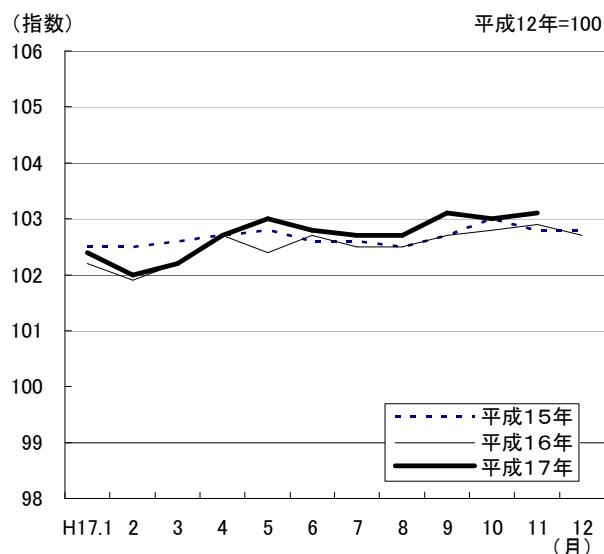
総合指数の前月比が0.1%の上昇となった内訳を寄与度でみると、光熱・水道などの上昇が要因となっている。

総合指数の前年同月比が0.7%の下落となった内訳を寄与度でみると、食料などの下落が要因となっている。

総合指数の動き



生鮮食品を除く総合指数の動き



10大費目指数の動き

(平成12年=100)

	総合	生鮮食品を除く総合	持家の 帰属家賃を除く総合	食料	生鮮食品	住居	光熱・水道	家具・ 家事用品	被服 履き物	保健 医療	交通・ 通信	教育	娯楽	諸雑費
当月指数	102.3	103.1	97.6	95.9	87.5	122.9	111.5	77.8	88.5	104.4	97.0	110.9	88.9	99.5
前月比 (%)	0.1	0.1	0.0	▲ 0.5	▲ 2.1	0.2	2.0	▲ 0.5	0.3	0.2	▲ 0.4	0.0	▲ 0.1	0.0
寄与度	0.10	0.09	0.00	▲ 0.14	▲ 0.10	0.04	0.18	▲ 0.01	0.02	0.01	▲ 0.04	0.00	▲ 0.01	0.00
前年同月比 (%)	▲ 0.7	0.2	▲ 1.2	▲ 4.4	▲ 15.7	1.6	7.4	▲ 4.1	▲ 6.3	▲ 0.3	▲ 0.2	1.8	▲ 0.9	1.5
寄与度	▲ 0.70	0.18	▲ 0.99	▲ 1.21	▲ 0.84	0.39	0.62	▲ 0.12	▲ 0.36	▲ 0.01	▲ 0.02	0.07	▲ 0.07	0.07

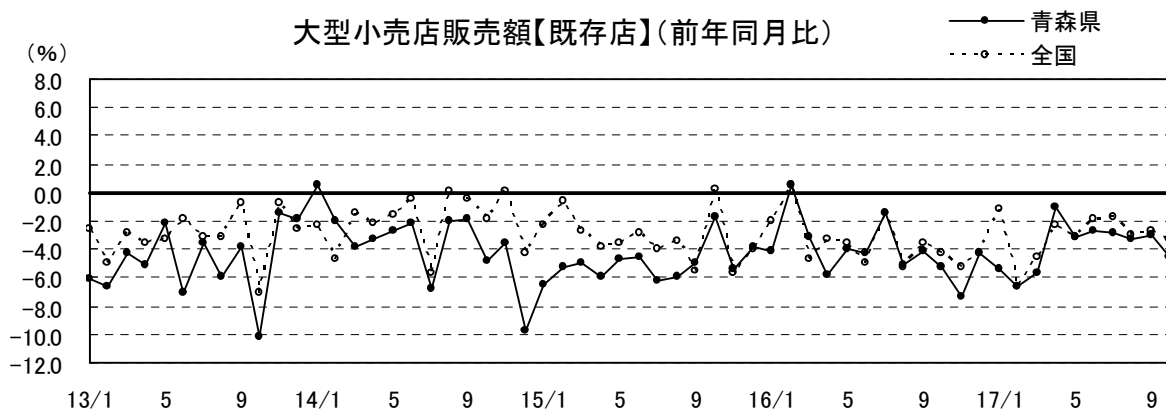
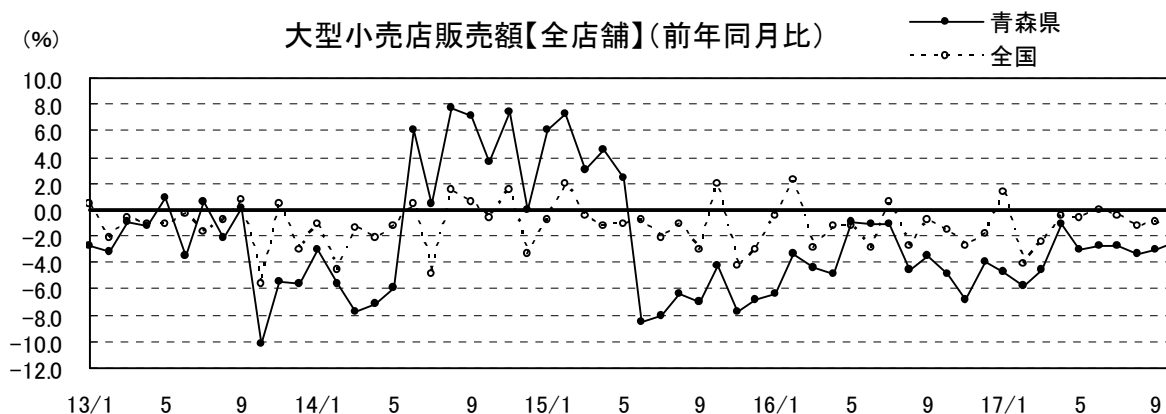
資料：県統計分析課「消費者物価指数月報」（速報）

※ 寄与度とは、ある費目の指数の変動が、総合指数の変化率のうち何ポイント寄与したかを示したものであり、全費目の寄与度を合計すると、総合指数の変化率に一致する。

(2-4) 個人消費

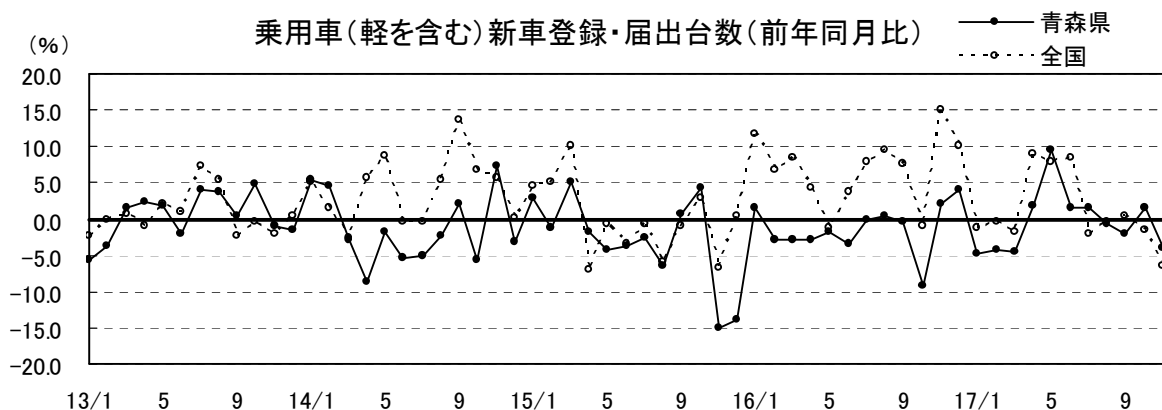
平成17年10月の大型小売店販売額は、全店舗ベースが前年同月比2.5%減の142億8千3百万円で29ヶ月連続、既存店ベースが4.5%減で20ヶ月連続のマイナスとなった。気温が高めに推移したことから飲食料品、衣料品とも低調だったことによる。

平成17年11月の軽自動車を含めた乗用車新車登録・届出台数は3,445台で、前年同月比4.0%減となり2ヶ月ぶりに前年を下回った。軽自動車は2ヶ月連続でプラスだったが、普通車が6ヶ月連続のマイナス、小型乗用車も2ヶ月連続でマイナスだったことによる。



資料：東北経済産業局「東北地域大型小売店販売額動向」

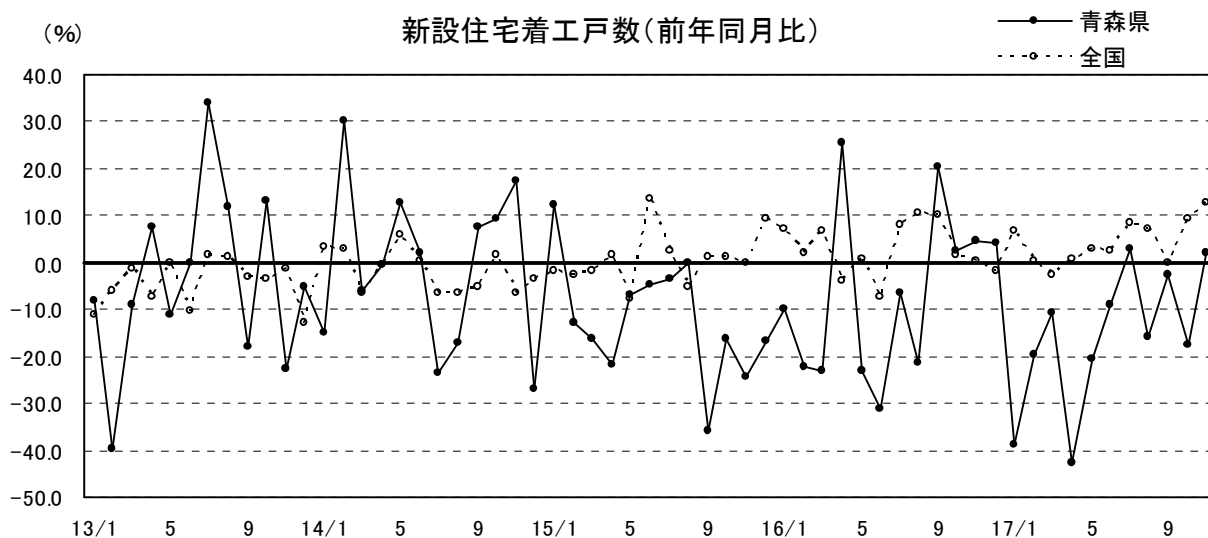
* 大型小売店は従業員が50人以上で売場面積が1,500平方メートル以上の商店をいう。そのうち、既存店とは、当月及び前年同月とも調査の対象となっている商店をいう。



資料：青森県自動車会議所「車種別登録・届出台数」、日本自動車販売協会連合会「自動車統計データ」

(2-5) 住宅建設

平成17年11月の新設住宅着工戸数は812戸で、前年同月比2.0%増となり、4ヶ月ぶりで前年を上回った。持家と貸家がいずれもマイナスだったものの、分譲マンションに動きがあったことによる。

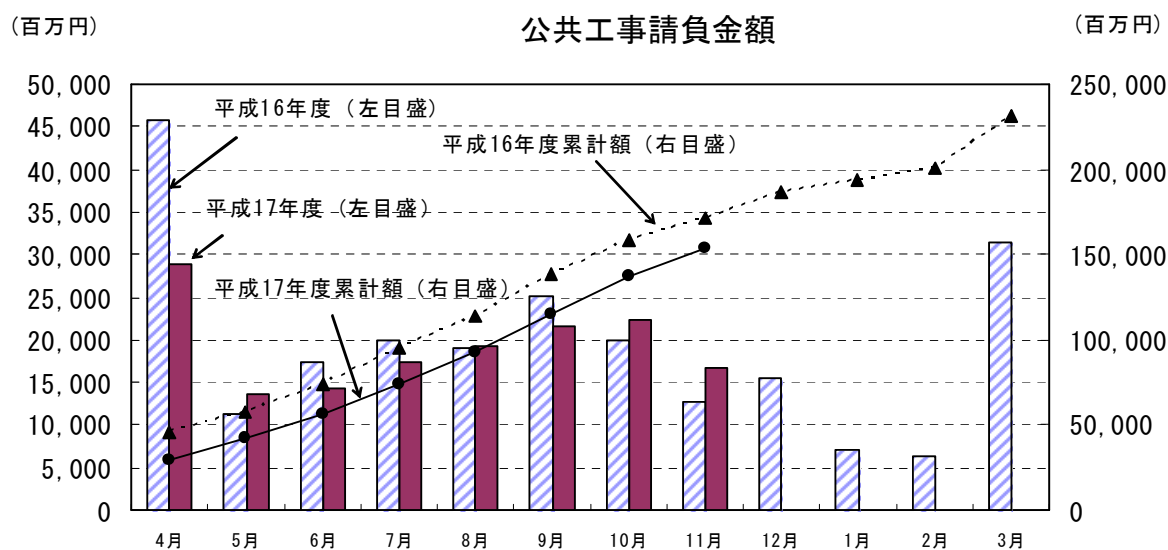


資料：県建築住宅課「建築着工統計」、国土交通省「建設統計月報」

(2-6) 公共投資

平成17年11月の公共工事請負金額は、167億8百万円で前年同月比31.5%増となった。発注主体別では、国が22.6%減、県が13.6%減、市町村が0.6%増、その他が710.1%増となった。

また、4月からの累計では10.1%減となっている。



資料：東日本建設業保証(株)青森支店「青森県内の公共工事の動向」

(3) 青森県景気動向指数

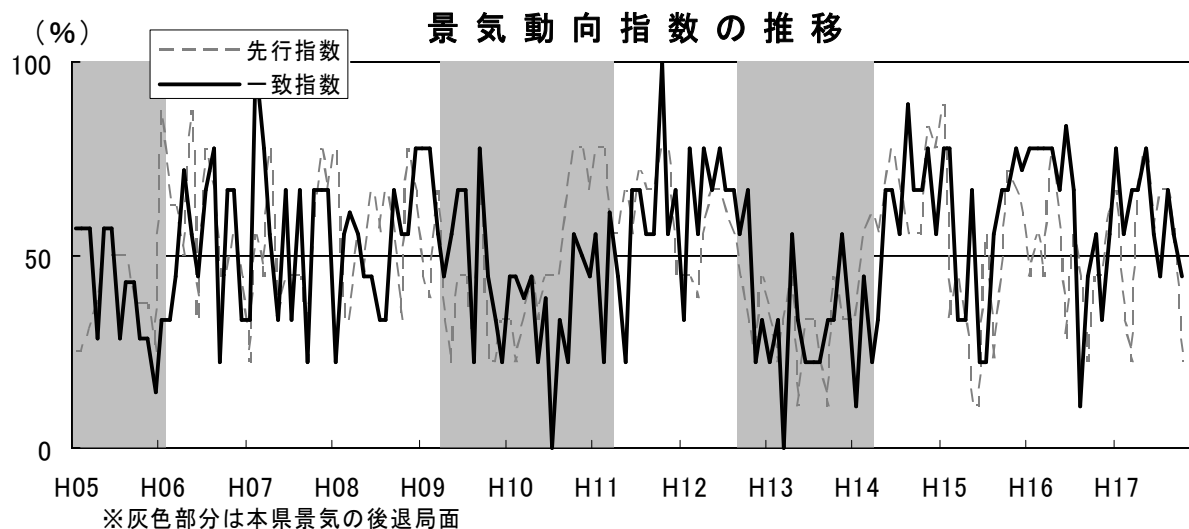
平成17年10月の青森県景気動向指数は、先行指数22.2%、一致44.4%、遅行指数50.0%となった。

先行指数は、7か月ぶりに50%を下回った。

一致指数は、3か月ぶりに50%を下回った。

遅行指数は、3か月ぶりに50%を下回った後50%となった。

10月の一致指数は、生産関連および物流関連の指標等がマイナスとなったことから、50%を下回った。



●個別系列の動き（各指標は季節調整等を行い、5ヶ月前と比較しています）

プラスの指標		マイナスの指標	
先行系列（9指標中2指標がプラス）			
所定外労働時間指数（全産業）	2か月連続	乗用車新車登録届出数	2か月連続
入職率（製造業）	2か月連続	生産財生産指数	4か月ぶり
		新規求人倍率（全数）	2か月ぶり
		新設住宅着工床面積	5か月ぶり
		建築着工床面積（鉱+商+サ）	2か月連続
		企業倒産負債額	2か月連続
		中小企業景況DI	2か月連続
一致系列（9指標中4指標がプラス）			
鉱工業生産指数	2か月ぶり	大型小売店販売額（既存店）	2か月連続
有効求人数（全数）	26か月連続	電気機械生産指数	3か月ぶり
総実労働時間数（全産業）	3か月連続	大口電力使用量	2か月ぶり
日銀券月中発行高	5か月ぶり	海上出入貨物量（八戸港）	6か月連続
		東北自動車道IC利用台数	6か月ぶり
遅行系列（6指標中3指標がプラス）			
常用雇用指数（製造業）	3か月連続	勤労者世帯家計消費支出（実質）	2か月連続
1人平均月間現金給与総額	3か月ぶり	単位労働コスト（製造業）	2か月ぶり
輸入通関実績（八戸港）	2か月ぶり	青森市消費者物価指数（帰属家賃除く）	4か月ぶり

資料：県統計分析課「青森県景気動向指数月報」